

..... [-
.....] 13

.....
..... [

..... -
.....] 15

..... [.....
.....] 16

.....

1. 目的と範囲
本報告書は、我が国の経済成長と社会福祉の向上に関する政策の効果を評価することを目的とする。対象とするのは、2010年から2020年までの期間である。

2. 調査方法
本報告書は、定量的調査と定性的調査の両方を用いた。定量的調査は、政府の統計データと民間調査の結果に基づいて行われた。定性的調査は、関係機関の専門家とのインタビューを通じて行われた。

3. 結果
調査の結果、我が国の経済成長は持続的であり、社会福祉も向上していることが確認された。ただし、地域間の格差や高齢者の生活水準の向上にはさらなる努力が必要である。

4. 結論
本報告書の結論として、我が国の経済成長と社会福祉の向上を促進するためには、持続可能な開発戦略を推進し、地域間の格差を縮小させることが重要である。

